

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 511

施策 低炭素社会への転換の推進

管理事業 環境政策事業

2 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 環境影響評価事務事業	環境政策室	一定規模以上の事業について、その事業の実施による環境影響を事前に調査、予測及び評価を行うとともに環境保全の取組を実施するよう、環境影響評価制度を運用する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 297	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	環境影響評価が単なる手続きに終わらず、環境の保全及び良好な環境の創造のためにより効果的な取組が講じられるよう、事業者に働きかけていく必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 環境マネジメントシステム運用事業	環境政策室	ISO14001の運用で培ったノウハウを活用した独自の環境マネジメントシステム「吹田市役所エコオフィスプラン」の運用を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 8,984	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	現行のエコオフィスプランで環境取組を推進しているものの、エネルギー起源二酸化炭素やエネルギー消費量について目標達成が困難な状況である。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 環境審議会運営事業	環境政策室	環境の保全及び創造に関する事項について、市長に意見を述べる。また、市長の諮問に応じ、環境基本計画に関すること等について調査審議を行い、答申する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 177	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	環境審議会は、環境基本条例で設置が義務付けられており事業の実施は必須であるが、より効率的な運営を検討する必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ すいた環境サポーター養成講座運営事業	環境政策室	受講者が、受講後、それぞれの家庭や地域、組織の中で環境教育を実践するとともに、「すいた環境サポーター」として登録し、ボランティアの担い手や各種イベントへ参画する人材を育成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 675	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	募集定員30名に対し28名の応募があったものの、修了者数が15名となっており、講座内容や開催日時などの検討を行う必要がある。受講者の講座修了後の活動状況の把握方法が課題である。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ アジェンダ21すいた推進事業	環境政策室	吹田市第2次環境基本計画を實踐し、持続可能な社会の実現を目指す市民、事業者、行政の三者協働の組織、「アジェンダ21すいた」の推進を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 510	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	地球温暖化防止をはじめさまざまな環境分野の啓発事業を積極的に推進しているが、会員の高齢化や会員数の伸び悩みがあり、継続するには新規の会員獲得が必要である。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 地球温暖化対策新実行計画管理運用事業	環境政策室	吹田市地球温暖化対策新実行計画を、社会情勢や環境の変化を踏まえ概ね5年ごとの見直しを行う。また、同計画に基づき低炭素社会に向けたライフスタイル及び事業スタイルの転換を図る。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 40	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	地球全体の環境に深刻な影響を及ぼす地球温暖化の防止を図るための啓発を実施しているが、短期間では温室効果ガスが削減されるなど、目に見える効果の検証が難しい。	継続

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	環境政策室		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 511

施策 低炭素社会への転換の推進

管理事業 環境政策事業

2 枚のうち 2 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑦ 吹田市環境基本計画見直し事業	環境政策室	吹田市環境基本計画を、社会情勢や環境の変化を踏まえ、概ね5年ごとの見直しを行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 4,518	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 恒常的な業務ではないため、計画の見直しの度に、業務量が増大し、業務のノウハウの蓄積も難しい状況であることから、事務改善に取り組むなどの、事業効率の向上に努める必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑧ 環境啓発事業	環境政策室	市民・事業者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立やより良い環境づくりに向けた意識の向上を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 288	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 市民、事業者、行政の協働により、さまざまな環境問題をテーマとした啓発イベント等を実施しているが、評価指標の設定や、目に見える効果の検証が難しい。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑨ 環境まちづくり基金積立事業	環境政策室	環境先進都市の実現に向けた環境施策の推進に係る経費を積み立てる。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 78,827	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 環境まちづくり基金の財源となっている電力調達の効果額の積み上げが令和2年度になくなるため、本基金を継続的に活用するためには、新たな財源の確保が必要である。また、本基金を活用し、継続的かつ効果的に展開することができる事業を検討する必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩	環境政策室		
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑪			
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑫			
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課